



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、幸多き新春を迎えられた事と、お慶びを申し上げます。

昨年は私にとりまして、市民の皆様の審判を仰ぐ節目の年でした。

おかげさまで当選を果たささせていただき、心から感謝申し上げます。

初心忘れる事なく、襟を正して市民の負託に応えるべき全力で頑張っ
て参りますので、今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

▼今年の流行語大賞に、「政権交代」が選ばれました。たった 4 文字の呼びかけで、国民の支持を獲得したと評価された為だと言う事です。▼鳩山総理は、「地域主権」改革を『一丁目一番地』に位置付け、「地域主権の確立」を重要課題とし「事業仕分け」や 2010 年度予算編成が進められています。▼忘れてならないのは、政府は国の政策に地方が参画する「国と地方の協議の法制化」を約束しています。▼この事は、地方が国政に正式に参画する事を意味し、この協議機関をどう設計するかが問題であり、今後の分権改革で大きな焦点になると思っています。▼今後とも新しい社会の姿を地域から示される様、微力ながら頑張っ
て参ります。皆様には引き続きご指導ご鞭撻、宜しく
お願い申し上げます。▼皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



= 平成21年第4回定例会 (H21.11.30~12.15) =



▼市長提案理由説明では、「マクベス」50 回のロングラン公演は 3 万 3,000 人の観客を魅了し、閉幕したと報告。今後は相乗効果の発揮に努め、交流人口の拡大と地域振興に努めると示し、参加いただいた多くのエキストラやボランティアの方々に感謝申し上げますとしました。▼また、来年は「長谷川等伯」没後 400 年を迎え、七尾を全国に広く PR する絶好の機会と捉え、記念事業実行委員会が発足し、等伯を軸とした文化交流、観光交流等各種事業を展開して行くこととしました。▼合宿拠点整備では、サッカー合宿を誘致するための事業に取り組むと共に、来年の「ねんりんピック」のサッカー会場として間に合う様に、サッカーコート 3 面を 8 月中の完成目指し整備することとしました。▼新型インフルエンザ対策では、11 月 2 日からワクチン接種が優先接種者を対象に開始、妊婦と基礎疾患の方々から順次行われているとし、市単独で、妊婦の方と 1 歳から中学生まで対象として、接種費用助成を実施し感染拡大の抑制に努めるとしました。▼除雪対策では、全面的に除雪対策を見直し、除雪優先路線や出勤体制の強化、情報の共有化を図り、市内を 11 に区域区分し、除雪機の補充や区域内の業者間で、相互対応できる様に体制を整え、市民生活への影響を最小限に止めて行くこととしました。▼景気・雇用情勢では厳しい雇用失業情勢に変わりなく、地場産業の振興や企業誘致を強力に取り組み、雇用の場や機会の拡大を図ることとしました。▼中学校再編整備では、これまで東エリアの東部・湊南・北嶺中学校の統合に向けて、保護者・地域住民の皆様説明を行ってきており、平成 22 年 4 月の統合に向け具体的な準備を進めていることとしました。

また、北エリアの香島・能登島中学校、西エリアの田鶴浜・中島中学校についても、引き続き再編整備を進めていくことと示しました。▼今回の議会一般質問には 13 名の議員が立ち、私は 8 日に議会質問いたしました。今議会の概ねを報告致します。



平成21年度・12月補正予算

(単位:千円)

	一般会計		特別会計	
	12月補正予算	12月補正後予算	12月補正予算	12月補正後予算
■平成21年度	1,077,306	32,654,191	143,834	18,787,545
■平成20年度	309,555	28,166,820	264,127	20,523,127
■平成19年度	957,692	34,460,004	141,641	23,798,528

郷土に誇りと愛着を持つひとづくりプロジェクト

(単位:千円)

事業費

担当課

中学校管理運営費	東部・湊南・北嶺中学校統合スクールバス購入(6台)	27,400	子供教育課
中学校再編整備推進費	東部・湊南・北嶺中学校統合による閉校式及び校名変更	2,900	〃
企画費	ふるさと納税促進啓発費	387	企画経営課

交流を軸とした地域経済活性化プロジェクト

交流人口拡大事業費	県内外の大学等合宿誘致(一人一泊1,000助成)50人泊	1,452	観光交流課
合宿拠点整備事業費	合宿拠点となるサッカーグラウンド及び附帯施設整備 (多目的グラウンド・管理棟・駐車場など) H22年8月完成	701,600	観光振興課
文化振興事業費	長谷川等伯没後400年記念事業、実行委員会支援助成費	1,000	文化振興課

安全・安心なまちづくりプロジェクト

感染症予防事業費 (補助)	新型インフルエンザ予防接種費用を全額公費負担分 対象者:生活保護世帯、市民税非課税世帯、接種費用全額免除…国1/2、県1/4、市1/4(対象者…4,279人)	28,569	健康推進課
新型インフルエンザワクチン接種費(市単独)	新型インフルエンザ予防接種費用の一部助成 対象者:妊婦及び1歳から中学生まで。1回の接種に係る自己負担1,200円の差額(対象者…4,958人) 1回目 3,600円(市助成2,400円 自己負担1,200円) 2回目 2,550円(市助成1,350円 自己負担1,200円) 計 6,150円(市助成3,750円 自己負担2,400円)	18,957	〃
除雪対策事業費	除雪対策業務委託料、除雪機械14台借り上げ料	10,500	土木課
西湊99号線道路改良	用地購入、改良整備(L=600m W=7.0m A=約14,000㎡)	36,056	〃
河川等災害復旧事業費	台風18号による災害復旧費(東湊1号線ほか3件)	13,136	〃
漁港等災害復旧事業費	台風18号による災害復旧(庵漁港 他1件)	34,831	〃
社会教育施設災害復旧	土砂流出被害による災害対策復旧費(コロサスキー場)	64,764	生涯学習課

市民生活を支えるプロジェクト

緊急雇用創出事業費	確定申告の電子申告に係る操作支援 税務課…94万円 能登和倉万葉の里マラソンコース整備 スポーツ振興課…387.6万円 湾岸道路環境整備 農林水産課…262.5万円 公会計固定資産情報等整備 財政課…44.8万円	7,889	産業政策課
-----------	---	-------	-------

【議会質問】

※ 今議会の一般質問は、12月7～8日に行われました。私は8日に登壇し、議会質問いたしましたので、その概略を報告いたします。

平成22年度当初予算編成方針と新ルールによる要望活動



質問…平成22年度当初予算編成方針と新政権に伴う新ルールによる要望活動の中で、事業予算確保について、どの様に取り組んでいくのか考えを伺う。



市長答弁…これまで予測されなかった大きな政権交代があった。この事による影響について正直言って戸惑いがあり、民主党の考え方について意見を言っていかなければならない。これまでの要望活動が変わるのか変わらないのか懸念する事がある。

国の予算も決まらないし、国の方針も良く見えないが、国に左右される事無く、七尾市は七尾市としてのあり方で、市民のニーズに添えていきたい。新しい政権になったからと言って、新しいルールで何かをする事にはならない。合併特例債を積極的に使い、情報収集に全力を挙げて、第一次七尾市総合計画の実現の為に、全力を挙げる事が出来る予算を策定して行かなければならないと思っている。

地方消費者行政における七尾市の取り組み



質問…振り込め詐欺や悪徳商法が次々に現れ、消費者は徹底的に痛めつけられ、安心・安全を確保する受け皿が求められる。七尾市では、来年4月から消費生活センターが設置され、業務開始が期待される。-1. 相談員の待遇と配置をどの様に考えるのか伺う。
-2. 消費者行政を活かす為の体制づくりについての考えを伺う。



市長答弁…県の中能登消費生活相談室が、今年度で廃止になる。その対応として、市民の消費生活相談は市が責任を持って取り組んでいく。平成22年度は、消費生活センターを開始する。-1. 相談員は、専門の相談員を非常勤の嘱託職員として配置して行く。-2. 全国の消費生活情報システムを設定し機能強化を図る。また、県の消費生活センターと連携を取りながら、職員レベルアップや情報の提供、啓発の為にチラシ等にも取り組む。

今回、私の議会質問は「平成22年度当初予算編成方針と新ルールによる要望活動」「地方消費者行政における七尾市の取り組み」「七尾市における第一次産業の振興策」「ペット連れ旅行者と七尾市の地域振興策」「保育所耐震診断結果に伴う対応や事業計画」以上5点11項目にわたり議会質問いたしましたのでご報告いたします。

= 七尾鹿島広域圏事務組合議会 =



- この程、七尾鹿島広域圏事務組合議員として任に就く事になりました。その役割・概要をご報告いたします。
- 議員定数…10人で市町議会において議員のうちから選出する。(七尾市…6人、中能登町…4人)
- 役割…議案審議、請願、圏域住民の声の反映など、地方自治を具現する決定機関として独立している。
- 関係施設…能登総合病院、消防本部・署(常備)、消防団(非常備)、ななかサイルセンター(ごみ処理施設)、中央埋立場、南部ごみ資源化基地、刈センター(し尿処理施設)、ななか斎場、七尾鹿島青少年補導センター
- 水防協議会委員…二宮川及びその支流に係る区域の水防法に基づく協議会委員。

■平成 21 年第 3 回定例会

[平成 21 年 11 月 27 日、第 3 回組合議会定例会が開催されました。]

▼提案理由説明で武元組合長は、民主党が国政の第一党となり、国の直轄事業及び補助事業が行政刷新会議で全面的な見直しが行われているが、先行きが不透明な状況下であるとなりました。▼新型インフルエンザの集団発生が圏域内においても確認され、組合としても、衛生・消防及び保健において各々対策をマニュアル化し、不測の事態への対応を行っているとなりました。▼補正予算では、230 万 1 千円を減額し、歳入歳出それぞれ 38 億 4,383 万 8 千円となりました。▼今回の議会質問は私一人でしたが、その概ねを報告致します。

●議会質問



▼新型インフルエンザ対策・対応について。

質問…受診者の状況と推移、当病院へのワクチンの配分と接種患者の状況について伺う。

能登総合病院川口事業管理者答弁…陽性と診断したインフルエンザ患者数は、10 月は 1 日当たり 18.7 人であったが、11 月は 51 人と急増している。▼中でも小児が多く、小児の先生方は大変です。今のところ診療体制を変更する事は無いが、さらに増えて来ると、大学病院等へ応援要請し適切に対応したい。▼新型インフルエンザ対策のワクチン接種は、医師等の医療従事者及び消防救急隊員と、医療機能に不可欠な職員 314 人について終わっている。▼優先順位は、妊婦、基礎疾患を有する予約を 10 月 19 日から受け付け、現在 1,026 人の予約に対して 297 人が接種済みの状況。ワクチンの入荷は現在までに 3 回あり、計 475 人分で予約数に対して 46% 足らずが配分されており、製造が追いついていない状況だが、今後ワクチンが到着しだい接種できる様に対応して行く。▼一方、季節インフルエンザワクチンについては、昨年の約 2,800 人分の入荷に対して今年は製造の 20%が新型インフルエンザ用に振り分けされ、約 2,200 人分に留まっており、今後の入荷予定も立っていない厳しい状況がある。また、医薬品の備蓄状況については、現在タミフル 3,000 錠 300 人分、ビネンザ 50 箱 50 人分であり十分とは言えないが、確保に努めインフルエンザには病院として全力をあげて対応して行く。



▼潜在看護師の戦力化について。

質問…潜在看護師の状況と掘り起こしへの取り組みや課題について伺う。

能登総合病院川口事業管理者答弁…看護師確保は極めて重要な課題である。▼現在看護師は、正規 294 名、臨時 47 名、計 341 名であり、病気や育児休暇そして産休等で常時約 20 名が休んでいる状況。▼正規職員には、子育て支援の為に短時間勤務体制も導入しており、臨時職員には 1 日 4 時間、6 時間の勤務をはじめ、週 1 日、2 日、3 日勤務の臨時職員など、様々な勤務体制を準備して、何とか看護師を取得している現状がある。▼掘り起こしの為には、現在、看護師紹介カードの作成や、再支援就業研修等も行っており、効果的な取り組みとして看護学校の先輩や後輩からの紹介、そして職員の知人などを通じて潜在看護師の掘り起こしをしながら看護師確保に努めていきたい。▼今年度、臨時看護師で採用された方は、随時募集 3 名、職員紹介 11 名で、この内、正規職員に 3 名なっただけである。

今回、私の議会質問は公立能登病院における諸問題として「事業仕分けに伴う医療への影響と今後の方向性」「第 2 次経営改革の進捗状況」「たらい回し防止に伴う緊急、転院患者の搬送や受け入れ」「新型インフルエンザ対策・対応について」「携帯電話に伴う院内補助アンテナ設置」5 点 11 項目について質問しましたので皆様にご報告致します。

※新年の『年賀状によるご挨拶』は、『公職選挙法』の規定に基づき、遠慮させていただきますのでご了承願います。

